

平成29年度事業報告

一般社団法人 日本パラサイクリング連盟

平成29年度は、選手、スタッフ、事務局も2020年に向けた基盤（基礎）づくりをメインとして活動した。選手たちは、基本的なロードトレーニングを中心に長期合宿を組みハンドリング、ペダリング、コーナーリングなどの基本的なことを徹底してやることができた。合宿地としても長野県、岐阜県を新たに取り入れ交通量の少ない場所で安全にトレーニングすることができた。スタッフは、各自の得意分野を見極め選手に合わせたチームづくりを心掛けた。また、人数も増やすことで遠征、合宿でのスタッフの漏れがないようにした。

国際大会では、野口佳子選手が世界選手権ロードタイムトライアルにて金メダルを獲得、2017ジャパンパラサイクリングカップでは2016リオパラリンピックのメダリストたちを抑えて、金メダルを2つを獲得する走りを見せた。また、川本翔大選手はアジア選手権において1 km TTと3 km IPにて日本記録を更新し、金メダル、銀メダルを獲得することができた。この結果は、1年間を通してやってきた基礎的なトレーニングが実ったといえる。

3回目の開催となったジャパンパラサイクリングカップには6ヶ国24名の選手たちが参加し、高い競技レベルを披露した。また、大会の中では地元中学生との交流会も行い、パラサイクリングの普及にもつなげることができた。

選手発掘は、JSC、JPCの発掘事業に加えJーライジングスタープロジェクトにも参加し、選手を発掘することができた。また、連盟独自の発掘として、特別視覚支援学校（札幌市）にパラサイクリング部を設立し、教員、地元スタッフと協力し生徒から部員を募り、強化選手への道を開くことに成功した。現在、2名の選手が強化指定選手として連盟に所属している。

パラサイクリングの普及活動は、赤城山ヒルクライム、ジャパンカップ、さいたまクリテリウムなどの大きな大会やイベントに積極的に参加し、PRすることができた。色んな自治体や自転車関係団体との連携がとても需要であると感じた。

最後に多くのスポンサー企業、関係協力団体、関係者の方々から温かいご支援・ご協力のおかげで、連盟の運営、強化体制の基盤作り、選手強化、パラサイクリングの普及を行うことが出来た。心より感謝いたします。

（1）選手強化事業

【国際大会派遣】

大会名 2017UCIパラサイクリング・ロード・ワールドカップ - オステンド
派遣期間 平成29年5月15日～5月23日
派遣人数 選手6名 スタッフ8名
開催場所 オステンド（ベルギー）
成績 銅メダル2個、入賞1名1種目



大会名 2017UCIパラサイクリング・ロード世界選手権
派遣期間 平成29年8月26日～9月5日
派遣人数 選手3名 スタッフ8名
開催場所 ピーターマリッツバーグ（南アフリカ）
成績 金メダル1個、銅メダル1個、入賞1名2種目

大会名 ジャパン・パラサイクリングカップ2017（トラック）
派遣期間 平成29年11月17～19日
派遣人数 選手9名
開催場所 静岡県伊豆市 日本サイクルスポーツセンター

大会名 アジア選手権（トラック）
派遣期間 平成30年2月13～21日
派遣人数 選手2名 スタッフ4名
開催場所 ニライ（マレーシア）
成績 金メダル3個、銀メダル1個

大会名 2018UCIパラサイクリング・トラック世界選手権
派遣期間 平成30年3月16～29日
派遣人数 選手6名（パイロット含む） スタッフ8名
開催場所 リオデジャネイロ（ブラジル）
成績



【国内大会】

大会名 2017日本パラサイクリング選手権大会トラック大会

大会日程 平成29年5月13日
場所 宮城県大和町

大会名 2017日本パラサイクリング選手権大会ロード大会
大会日程 平成28年6月23日
場所 青森県階上町

【国内強化合宿】

期 間 平成28年4月～平成29年3月末まで22回
場 所 静岡県 日本サイクルスポーツセンター他
参加者 強化選手1～10名 スタッフ1～8名

【強化会議】

実施期間 平成29年4月から30年3月末にかけ1回（単独開催の場合）

※選手強化活動（競技力向上事業）に対して、（公財）日本スポーツ振興センターを通じてスポーツ庁から50,421,000円の助成を受けた。

（2）パラサイクリング普及・発掘事業

発掘・普及イベント

①ツール・ド・しものせき2017 ブース出展

日 程 平成29年5月21日

場 所 山口県下関市



②（記録会・体験会）2017チャレンジ・ザ・パラサイクリング・ロード

日 程 平成29年7月29日

場 所 日本サイクルスポーツセンター（静岡県伊豆市）



③第34回シマノ鈴鹿ロード ハンドバイクエキシビション

日 程 平成29年8月19日

場 所 三重県鈴鹿サーキット



④（ハンドサイクル普及）海の中道大会 ※雨天中止

日 程 平成30年3月21日

場 所 海の中道海浜公園（福岡県福岡市）

<その他の発掘・普及イベント>

平成29年5月30日～6月4日

山陽小野田市とのスポンサーシップ事業による、強化合宿及び地元の子どもたちとの交流事業。



平成29年7月9日

アスルクラロ沼津ホーム戦に合わせたイベント「サイクルDay」にてパラサイクリングのPR



平成29年7月24日

未来（あした）への道 1000km横断リレー ゲストランナー



平成29年9月17日

ツールド東北 ゲストランナー



平成29年9月24日

サイクルパークスタジアム2017 トークゲスト



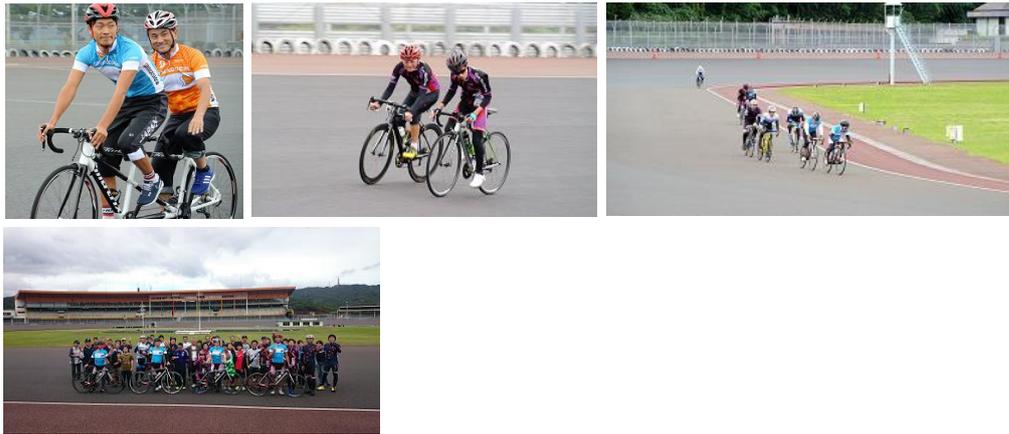
平成29年9月24日

赤城山ヒルクライム ゲストランナー



平成29年10月14日

山陽小野田市とのスポンサーシップ事業による、強化合宿及び『あいサポートフェスティバル』の交流事業。交流事業の中では県知事にタンデム自転車に乗ってもらうことができ、山口県内での一般公道でのタンデム自転車走行解禁へとつながった。（2018年4月以降の予定）



平成29年11月3日

さいたまクリテリウム タイムトライアル出場



平成29年11月17日

ジャパンパラサイクリングカップ 公式練習見学・交流（大仁中学校1年生）



平成30年2月10～11日

パラサイクリング体験交流会（静岡県主催）



（3）ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト

（公財）日本体育協会主催の発掘事業
山口県を拠点に発掘された1名を指導

（4）組織体制整備

組織運営・体制整備・普及啓発活動に対して、一般財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターから助成を受けた。

(5) 国際大会の開催

大会名 ジャパン・パラサイクリングカップ2017 (トラック)
期間 平成29年11月17~19日
参加国 チェコ、ドイツ、日本、韓国、ポーランド、アメリカ
参加選手数 23名 (日本選手9名含む)
開催場所 静岡県伊豆市 日本サイクルスポーツセンター
海外のトップクラスの選手を招待し、ハイレベルな国際大会となった。



(6) その他

平成29年6月
スポーツ功労賞授賞
川本翔大選手・相園健太郎選手・権丈泰巳 (監督)



選手の所属先の調整

野口佳子選手・川本翔大選手がTEAM BRIDGESTONE Cyclingに所属
藤井美穂選手に続き、楽天ソシオビジネスに倉林巧和 (パイロット) ・木村和平選手が入社